

# さわやか土浦

第 14 号

発行

令和7年1月1日

発行所

土浦市スポーツ推進委員協議会

編集

広報部会

事務局

土浦市教育委員会スポーツ振興課内

土浦市スポーツ推進委員広報部会

TEL 029-826-1111



ご挨拶

土浦市長 安藤 真理子

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては、令和7年の初春を健やかに迎えのことと、お慶び申し上げます。

土浦市スポーツ推進委員の皆様には、日頃より、市民の体力づくりとスポーツ・レクリエーションの振興につきまして、多大なるご尽力を賜り、心から感謝を申し上げます。さて、昨年は、春の選抜高校野球大会に常総学院高等学校が出場し、本市の野球のレベルの高さを全国にアピールしてくれました。最後まであきらめず、全力でプレーする選手たちに、私たちも元気をもらったところです。また、フランスのパリで開催されたオリンピック・パラリンピックでは、本市にゆかりのある選手も出場され、連日繰り広げられる熱い戦いに、私たちも熱狂しました。アスリートの勇姿に多くの方が感動し、勇気づけられ、スポーツの素晴らしさや楽しさを感じたことと思います。

皆様方におかれましては、今後も様々な年代が参加できるスポーツやレクリエーションを実施していただき、本市のスポーツ振興に、一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに皆様方にとりまして、本年が輝かしい実りある一年になりますことを心からご祈念申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。



ご挨拶

土浦市教育長 入野 浩美

「さわやか土浦第14号」発行おめでとうございます。

土浦市スポーツ推進委員の皆様には、日頃より地域のスポーツ推進役としてご協力いただき誠にありがとうございます。

さらには、市の社会体育の各事業の開催につきましても、ご理解とご協力を頂き、各事業が円滑に推進できますことは、皆様をはじめ関係者の方々のご尽力の賜物と、重ねてお礼申し上げます。

さて、昨年のスポーツ界を振り返りますと、パリオリンピックでの体操競技では、岡慎之助選手が40年ぶりにオリンピック1大会4個のメダル獲得やパリパラリンピックでの車いすテニスシングルスでは、小田凱人選手がこの種目で史上最年少の金メダリストに輝き、スポーツ関係者とはとより、国民にとっても明るい話題が続きました。

スポーツは、心身の健全な発達に資するとともに、明るく豊かで活力の満ちた社会形成に大きく付与し、健康づくりの一翼を担うものでございます。そうした中で、スポーツ推進委員の皆様方におかれましては、地域の絆を深める活動の担い手として大きな期待が寄せられております。

今後も、地域スポーツ推進のためにご活躍されますことをお願い申し上げますとともに、皆様方の益々の健康とご活躍、ご多幸を祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。



ご挨拶

会長 鈴木 清

新年明けましておめでとうございます。

スポーツ推進委員の皆様におかれましては、令和7年の新春を健やかに迎えのことと、お慶び申し上げます。

また、日頃から市民の体力づくりや地域スポーツの推進、レクリエーションの振興などにつきまして多大なるご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨年は、4年に1度のスポーツの祭典であるオリンピック・パラリンピックがフランスのパリにおきまして開催され、土浦市出身の大川慶悟選手（水球）、地元土浦日大高校在籍の草木ひなの選手（スケートボード）がオリンピックに出場されました。また、土浦市在住で「かすみがうらマラソン」の車いすマラソンのサポーターライダーとして参加された藤田征樹選手（自転車競技）がパラリンピックに出場されました。土浦から世界中が注目する大舞台に出場したことは大変喜ばしく、また、両大会におきまして、ご健闘されましたことに対し心よりお祝い申し上げます。

結びに、「さわやか第14号」の発行にあたり、ご尽力をいただきました広報部員の方々をはじめ、原稿を執筆いただきました委員の皆様にご心より感謝を申し上げます。

○県スポーツ推進委員協議会  
10年勤続表彰  
○新任委員紹介



浅野 弘樹  
(四中地区)

4月より四中地区スポーツ推進委員となりました。これから、みなさまと共に地域の皆様の健康およびスポーツの普及に微力ながらお役に立てるよう努めてまいりますので、宜しくお願い致します。

話は変わりますが、この度新任と同時に10年表彰を頂きました。私は平成24年にスポーツ推進委員となり9年間活動してきましたが、3年前に転勤となり退きました。しかし今年度転勤が終わり、こちらに戻ったところ、地区の吉田委員長にお声がけを頂き、再び推進委員として活動することになったため、今年度と合わせて10年表彰となりました。

このような理由から10年表彰を頂きましたが、3年間のブランクがあり、戸惑うこともありますが、以前の活動を思い出しながら、皆様と協力して地域のスポーツ振興に力を入れていきます。

最後に今年は新人でありながら10年表彰という少し違和感がある年になりますが、皆様ご指導、宜しくお願いいたします。

令和7年度 事業計画

■4月20日【川口運動公園】  
第35回かすみがうらマラソン

兼国際ブラインドマラソン

■5月上旬【都和中地区】  
土浦市スポーツ推進委員協議会総会

・中央研修会

■5月下旬【場所未定】

茨城県スポーツ推進委員協議会理事会

・総会・功労者表彰

■5月下旬【場所未定】

県南スポーツ推進委員協議会理事会・総会

■6月27・28日【山梨県甲府市】

関東スポーツ推進委員研究大会山梨大会

■11月13・14日【長野県長野市】

全国スポーツ推進委員研究協議会長野大会

■1月中旬【場所未定】

土浦市スポーツ推進委員協議会理事会

・新春の集い

■2月下旬【場所未定】

茨城県スポーツ推進委員協議会研修会

■日付未定【石岡市】

県南スポーツ推進委員協議会地区別研修会

令和6年度総会・中央研修会  
研修種目は「太極拳」

六中地区 坂本 敦史

令和6年5月11日（土）、土浦市スポーツ推進委員協議会の総会及び中央研修会が土浦第六中学校体育館で開催されました。この総会と研修会は、市内8地区の輪番制で行われているもので、今年度は我々六中地区スポーツ推進委員が当番地区となり開催されました。

当日の準備も問題なく進み、各地区推進委員の受付終了後、総会が執り行われました。

総会では、昨年度事業報告と、本年度事業計画及び予算案が審議され、提案通り可決されました。

総会後の中央研修会では、「太極拳」の講習会が行われました。



私の感想

になります  
が、その見  
た目の動き  
方からあま  
り激しくは  
ない運動の  
ように思わ  
れますが、  
想像以上に  
体力と筋力  
そして集中  
力を必要と  
する競技だ  
と実感しま

した。講師の先生方の動きを真似るだけでも精一杯で、あのゆっくりとした動きからは想像できないほどの汗、そして体力が消耗している事を感じました。皆さんも見た目以上に体全体を刺激されたのではないのでしょうか。

最後に、コロナ禍を経て社会のルールも変化し、相手を思いやる気持ちが強くなった昨今ですが、まだまだ対策が必要不可欠な状況でもあります。

開いてしまった人と人との距離を、スポーツを通して推進委員の皆様と共に縮めていけたら良いと感じています。

関東スポーツ推進委員研究大会

三中地区 土田 實

令和6年6月7日（金）、千葉県成田市の重兵衛スポーツフィールド中台体育館を主会場にして令和6年度関東スポーツ推進委員研究大会千葉大会が開催され、土浦市からは15名のスポーツ推進委員が参加しました。関東スポーツ推進委員研究大会は、関東1都8県のスポーツ推進委員が一堂に集まり、



当面する生涯スポーツの諸問題について研究協議し、スポーツ推進委員の資質の向上と相互の情報交換を図り、地域スポーツの発展に寄与することを目的として開催されています。

今年度の研究テーマは「世代を超えスポーツで見つけよう！私たちの未来そして夢」。内容は、千葉県市川市と我孫子市の特徴的な取り組みについての事例発表と、北京オリンピック4×100Mリレー銀メダリスト・2000M日本記録保持者である末續慎吾氏が講師を務めた基調講演でした。

今回の研究大会にて、関東各都県の

スポーツ推進委員と交流を深めるとともに、各地のスポーツ推進委員の取り組みを知ることが出来ました。この場で得た情報を土浦市に持ち帰り、土浦市のスポーツ推進活動に展開していきたいと思います。また、土浦市各地区のスポーツ推進委員とも情報交換ができ、各地区の活動での意義や運営面の悩みや反省点などを共有することによって、今後に生かせる部分が多くあったと感じました。

【スポーツ推進委員とは？】

スポーツ基本法第三十二条に基づき、市町村におけるスポーツ推進のため、教育委員会規則の定めるところにより、スポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツ実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行う者です。

【スポーツの良いところとは？】

本来、「スポーツ」とは「気晴らし」であり、体を動かかすという人間の本源的な欲求にこたえらるとともに、爽快感、達成感、他者との連帯感等の精神的充足や楽しさ、喜びをもたらし、さらには、体力の向上や、精神的なストレスの発散、生活習慣病の予防など、心身の両面にわたる健康の保持増進に資するものだと思います。



## 国民スポーツ大会

一中地区 石原 宏紀

国民体育大会（国体）が2024年から国民スポーツ大会（国スポ）に名称が変わり、その国スポの在り方が今、問われている。

全国知事会会長（宮城県知事 村井知事）の国スポ中止論について言及したのをきっかけに、別の県知事からも抜本的な見直しを求める意見が相次いだ。

大会を統括する日本スポーツ協会は以前から見直しに向けた議論を進めているようだが……

県知事たちは何を問題視しているのか……

島根県の丸山県知事は、日本スポーツ協会が2023年に設置した「3巡目の国スポ在り方プロジェクト」に都道府県団体の関係者が含まれていない点、大会の開催に伴う莫大な財政負担をあげている。日本スポーツ協会側は何を見直すのかが見えてこない。



国体は「戦後の混乱の中、国民に希望と勇気を与える」ため、戦火を免れた京都府を中心に京阪神地域で第1回大会が1946年に始まり、各都道府県で毎年開催されている。その後、1948年の福岡大会から都道府県対抗方式になり天皇杯と皇后杯が創設。言わば「勝利至上主義」の始まりと言える。



38大会連続で開催地が優勝している不自然さ。

開催県は天皇杯獲得にやつきになる。そんな強化対策を展開する不毛な競争に歯止めをかける時期が来ている。現在は2巡目、2035年には3巡目に入る。

## 市民体育祭を終えて

二中地区 口田 雅也

令和6年10月6日二中地区市民体育祭が開催されました。コロナ禍が終息してから2回目になります。終日開催ではなく半日で全競技を完了します。

13時には閉会式を終わります。推進委員内で競技内容の見直しを行い、半日という短い時間でどのように開催するかを相談しながら考えていきました。次年度小学校に入学する子ども達から高齢の方にも参加できるような競技を実施しました。予定通り大きな遅れもなく、大きな怪我もなく、閉会式を終えることができました。

今後の課題としては、各町内の少年高齢化によって町内毎に競技に必要とする参加者の確保が難しいことです。小中学生は部活やスポーツのクラブチームの練習や試合などで参加できない場合もあります。それは土浦市だけではなく、他の地域でも言えることだと思いますが、それにしても子どもが少なくなっています。日本全体の人口が減ってきている事です。ある発表から見ると2004年12月が、ピークで1億2784万人、2030年には1億1522万人まで減ってしまう予測がでています。一方でとなりの市のつくば

市のある小学校では、つくばエクスプレスができたことで全校児童数が1300人を超える学校もあるようです。多すぎても運営側も困ることがありますが、やっぱり小中学生の参加人数が多くなると盛り上がり欠けてしまうと思います。

ほかの地域でいうと水戸市では数年前から市民スポーツ大会と名称を改めて開催日や内容を個人で選択できるようにしました。土浦市のような運動会形式で開催して参加できるところもあれば、9月から10月後半にかけて各種目別に会場を分けて、個人でもチームでも参加できるようにしたそうです。最後になりますが、二中地区のスポーツ推進委員として3期目になります。この数年間でも参加人数の減少によって町として参加ができず、不参加になってしまった町がありました。中には他の町と合同で参加した町もありました。今まで通り、町毎に参加できるとが喜ばしい事ではありますが、人数を集めることができない町にも目を向けて、どうすれば参加できるか、より多くの参加人数を集めるにはどうすれば良いか考えていきたいと思います。

スポーツ推進委員になって

四中地区 野口 貴代

私は、スポーツ推進委員に委嘱され、四中地区で活動して、2年目になります。私自身、子どもの頃から身体を動かすこと、スポーツをすることが大好きでした。小・中・高も何かしらの運動部に入部、北海道に住んでいたこともあり、ウィンタースポーツは授業でも学び、スキー・スケートをしによく出掛けていました。県内へ転校すると、テニスも学びました。

子ども達が小中学生になりますと、陸上を始めたのをきっかけに、健康向上の為に、私も一緒にクラブチームに入り、現在に至っています。クラブチームの仲間とは、マラソン大会や駅伝大会に参加して、楽しみながら、毎週日曜日練習に励んでおります。最近はお加齢もあり、怪我をすることが多く治療しながらですが、2年前にはマスターズに登録し、10月には、今年最後の記録会に挑んできました。

そして、最近は普段活動しているレクリエーションでも、ニユースポーツを取り入れ、モルック、ボッチャ、グラウンドゴルフをプレイすることも増えました。

そして、昨年ご縁があり、四中地区

推進委員のお誘いを受けることになりました。子ども達が小学生時には、スポーツ協会の方々にご指導を頂きながら初めて競技したティールボールやキックベースボール大会に参加したことを思い出されます。大変お世話になりました。数十年が経ち、まさか自分達がお世話になった方々とまた一緒に活動するとは思いませんでしたので、とても驚きました。未だ、右も左も分かりませんが、吉田委員長を始め、諸先輩の方々に、再びご指導を頂きながら地域の皆さまの健康増進を願い、地域の交流の輪が更に広がりますよう、微力ではございますが一所懸命努めて参りたいと思います。どうぞよろしくお願ひします。



五中地区一般ソフトボール大会

五中地区 鈴木 夏子

毎年暑さを更新する昨今。今年も猛暑の中、五中地区一般ソフトボール大会が開催されました。

8月25日、その日は朝から晴天。天気予報で最高気温34度になると知り、続く暑さにうんざりしながらも、熱中症対策をしっかり行い大会会場へ向かいました。参加チームは3チーム、年々参加チームが減っているこの大会。

昨年漸く規制緩和されましたが、ここ数年の新型コロナウイルスの影響で、様々な活動が規制されていた期間に運動不足や活動意欲の低下が問題視されていましたが、もしや今回の参加数にも影響しているのだろうか・・・と参加チームの減少に寂しさを感じながらも、和やかなムードで開会式は終了。

リーグ戦の第1試合が始まりました。参加選手の皆さんは楽しむムードでほのぼの始まった試合でしたが、ひと度攻撃打線に火が付くと、それはもうほのぼのどころではなくなります。

本大会は5回戦、試合時間1時間と短縮形式。

Aチーム0点、Bチーム1点で迎えた2回表、Aチーム打線に火が付き一気に11点獲得。その後Bチームも細々

得点を返しつつも、Aチームも負けじと得点を追加していき、15対7で迎えた5回裏、ついにBチームの攻撃が炸裂し、なんと15対16で逆転勝ち。全く予想もしていなかったドラマティックな展開に、激闘を繰り広げた選手たちだけでなく、観戦していた私も力を出し切った気持ちでいっぱいになりました。「今日は適当に楽しもう」そう始まった試合が、たった数十分で本気モードになり、いい大人が汗をかいてはしゃぎ、バット一振りで一喜一憂し、大声で声援を送り、声を掛け合い、年齢もバラバラのチームがこの短い時間の中で団結していく姿がそこにありました。勝ったチームも負けたチームも、笑顔で互いを称え合い、とても素敵な光景だなと思いました。

私たちスポーツ推進委員は、年間様々なスポーツを企画・運営しています。こうした活動を通して地域の皆さんの交流が活性化し、健康が促進され、健やかな地域を目指していきたいと思っています。

もっともっとたくさんの方々にスポーツに参加していただけるよう、これからもスポーツの魅力と大切さを伝えていきたいと思っています。

スポーツ推進委員として  
都和中地区 竹内 靖揮

昨年度より都和中地区スポーツ推進委員に委嘱されました竹内靖揮と申します。宜しくお願いいたします。

私事になりますが、土浦市の出身で学生時代からスポーツに携わり、土浦市に支えられてきました。小学校では軟式野球、中学校では市内の陸上競技や駅伝大会、高校は市内の高校へ通いバスケットボールに取り組んできました。小学生時代の思い出は、土浦マラソンに出場し、賑わっていた市街地を走って入賞したことです。社会人にな

ってから、かすみがうらマラソンの走路員、霞ヶ浦トライアスロンフェスタの救護のお手伝いなど、地元で開催されるスポーツイベントを支援し、貴重な経験をすることができました。

さて、昨年度コロナウイルス感染症分類の変更により、かすみがうらマラソンや歩く会など各地域の行事、各種イベント等が従来通りに行われました。その中でも公民館祭りは大盛況となり延べ2000人を越す地域住民の方々が集まりました。

一方で、コロナ期をきっかけに都和中地区では行われなくなった行事も存在します。夏のラジオ体操中央大会、

秋の球技大会、市民体育祭などが行われなくなりました。このような状況の中でも地域住民の健康増進、交流の機会、スポーツ活動の活性化を目的として、スポーツの集い都和中地区ボウリング大会、都和中地区卓球大会が開催

されました。市民体育祭ほど大規模なイベントではありませんが、小規模でもスポーツを通じて地域の方々が交流することの素晴らしさを改めて実感しました。



オリンピックイヤーの今年度、夏のパリオリンピックでは、10代、20代の日本代表選手の活躍が目覚ましい中、40代の活躍もみられ、幅広い層での活躍が見られました。また大谷翔平選手のドジャース移籍と大活躍も記憶に新しいと思います。

土浦市においてもかすみがうらマラソンやスポーツ推進委員の総会、研修会など精力的に行われており、都和中地区においても、スポーツの集いとしてモルック体験会、公民館祭り、歩く会等企画されております。地域住民が減少する今日、少しでも多くの地域住民が健康的で楽しく参加できるスポーツ活動を見出し、温かい交流を図ることが大切であると思います。

新治地区スポーツ協会三大イベント  
新治学園地区 酒井 克之

令和5年度から新治学園地区スポーツ推進委員長に就任し2年目。

これまでになく、たくさんの行事やイベント、研究集会等に参加させて頂きました。

今回、新治学園地区の年間行事で歴史ある三大イベントについてお話をさせていただきます。

1つ目は、新春恒例の「新春歩け会」旧新治村時代、今から60年以上も前から開催され、当時は1月2日に村内の老若男女600名以上の参加者があり盛大に執り行われていました。

コースは、新治地区公民館から筑波山神社入口迄の片道16キロの区間を歩き、カレーライスを食べ筑波山神社参拝後、バスにて公民館迄戻るルートです。令和7年は、1月3日に「新春歩け会」を開催予定です。

2つ目は、「村民体育祭」です。競技は、村内の地区別対抗競技、中学生による競技、小学校地区別対抗リレー等があり、最終種目の地区別対抗リレーは、最大の盛り上がりでした。

土浦市と合併後、「市民体育祭」として、毎年10月に新治学園地区で開催となり、チーム競技に変わりました。

参加者全員によるジャンケン大会の優勝商品をめぐり最後に楽しい時間を参加者と共に過ごしました。

3つ目は、「県外歩け会」も40年以上続く行事で、合併前は大型バス2台で県外での散策を行い、参加者の健康増進、健脚増強を促す為、現地視察をして、安全に配慮した計画を立て、参加者の皆さんが楽しい1日を過ごせるよう考慮し実施していました。



合併後は、コロナ禍が過ぎても参加が減少しましたが、引き続き「県外歩け会」を開催しています。

昨年は、11月3日に「塩原温泉まちめぐりツアー」と題して紅葉の始まった川沿い散策を実施しました。

合併前から行われている歴史ある行事、イベント等を引き続き開催し、地域の皆様方が積極的に参加できる内容を取り入れ、今後も皆様方の体力増進とコミュニケーションつくり、微力ながら務めていきたいと思っております。



# 令和6年度事業紹介

## ○一中地区

□ 5月25日	総会	□ 11月	混合バレーボール大会
□ 6月9日	ソフトボール大会	□ 2月	歩く会
□ 10月6日	市民体育祭（二小）	□ 3月	バスハイキング
□ 10月19日	市民体育祭（土小）	□ 3月	体力テスト
			グラウンドゴルフ大会

## ○二中地区

□ 6月9日	総会	□ 11月10日	球技大会
□ 8月4日	なでしこラジオ体操	□ 2月2日	（ソフトボール）
□ 10月6日	市民体育祭	□ 2月16日	球技大会
□ 10月27日	球技大会	□ 3月9日	（ソフトバレーボール）
	（ビーチボールバレー）	□ 3月9日	市民歩く会
			グラウンドゴルフ大会
			体力テスト

## ○三中地区

□ 4月20日	総会	□ 10月13日	市民体育祭
□ 5月18日	グラウンドゴルフ大会	□ 10月19日	体力テスト
□ 6月1日	ポッチャ大会（夏）	□ 10月19日	ポッチャ大会（秋）
□ 6月16・23日	軟式野球大会	□ 10月17日	文化祭
		□ 2月19日	市民ゴルフ大会
		□ 3月2日	歩く会

## ○四中地区

□ 4月28日	総会	□ 7月7日	グラウンドゴルフ大会
□ 6月16日	ポッチャ大会	□ 10月6日	市民体育祭
□ 6月16日	体力テスト	□ 11月24日	モルック大会
		□ 3月9日	フライングディスク大会
		□ 2月	歩く会

## ○五中地区

□ 5月	総会	□ 10・11月	グラウンドゴルフ大会
□ 8月	ソフトボール大会	□ 11月	公民館まつり
□ 9・10月	モルック大会	□ 2月	女子バレーボール大会
		□ 3月	歩く会

## ○六中地区

□ 6月16日	ソフトバレーボール大会	□ 10月6日	市民体育祭
□ 7月6日	ソフトボール大会	□ 11月10日	モルック体験会
□ 9月29日	ミニ運動会	□ 11月24日	ラージボール大会
□ 9月29日	体力テスト	□ 2月16日	歩く会
		□ 3月1日	ポッチャ大会

## ○都和中地区

□ 5月18日	奉仕作業	□ 11月17日	スポーツの集い
□ 5月19日	総会	□ 12月1日	（モルック）
□ 11月10日	ソフトボール大会	□ 2月2日	公民館まつり
			歩く会

## ○新治学園地区

□ 6月29日	総会	□ 11月3日	柔道大会
□ 6月30日	スポーツ協会長杯	□ 11月3日	県外歩け会
	バドミントン大会	□ 11月23日	秋季バドミントン講習会
□ 10月6日	市民体育祭	□ 12月8日	少年野球大会
□ 10月27日	体力テスト	□ 12月22日	小中学生対象
		□ 1月3日	バドミントン講習会
			新春歩け会

# 土浦市スポーツ推進委員名簿

◎会長 ○副会長

清水 裕美	口田 雅也	坂寄 弘和	飯塚 健太郎	町田 幸生	嶋田 文江	◎知久 哲也	二中地区	内藤 歩	石塚 智康	鈴木 亮	大森 利浩	熊井 祥之	石原 宏紀	大川 幸一	小林 まゆみ	古徳 洋一	◎鈴木 清	中根 浩	一中地区
臼田 周平	小林 豊	田中 義法	名知原 利和	以後崎 照	那珂 伸一	吉田 実	四中地区	金澤 みゆき	藤田 太郎	平野 篤	仕黒 弘志	中村 宏幸	佐々木 健博	小林 薫	保坂 進	的場 淳	土田 實	横張 一樹	三中地区
池田 純	縄野 昌紀	武田 光子	中嶋 洋	池崎 洋市	佐藤 均	小口 範男	六中地区	清水 和代	鈴木 夏子	篠田 恵一	八尾 慶太	小野 英明	藤井 輝夫	山口 栄一	野口 卓志	五中地区	浅野 弘樹	野口 貴代	小島 雄輔
郡司 紀文	渡邊 賢樹	内海 裕治	金子 泰也	須藤 隆	北野 善彦	来栖 孝	新治学園地区	酒井 克之	北谷 義貴	藤田 久樹	竹内 靖揮	窪田 智	富島 進	栗山 良一	原 市代	○渡邊 喜世志	都和中地区	坂本 敦史	飯島 洋介

## 令和5・6年度 広報部会員

部会長 知久 哲也（二中地区）  
 副部長 以後崎 照（四中地区）  
           石原 宏紀（一中地区）  
 会計 野口 卓志（五中地区）  
 委員 内藤 歩（一中地区）  
           町田 幸生（二中地区）  
           中村 宏幸（三中地区）  
           金澤みゆき（三中地区）  
           野口 貴代（四中地区）  
           小野 英明（五中地区）  
           飯島 洋介（六中地区）  
           坂本 敦史（六中地区）  
           富島 進（都和中地区）  
           竹内 靖揮（都和中地区）  
           酒井 克之（新治学園地区）  
           金子 泰也（新治学園地区）

## 編集後記

（担当：六中地区）

この度は委員の皆様のご協力により、「さわやか土浦」第14号を発刊するに至りました。こころより感謝申し上げます。

スポーツ推進委員を務めさせていただくこととなり2年、当初はスポーツをどのように推進させていくのか、私にも出来るのか…と不安もありましたが、推進委員の皆様そして地域の皆様にご助けられ、支えられて遂行する事が出来ています。

これからも、各地区、各地域、そして土浦のスポーツの発展に努めていきたいと思ひます。

充実した広報誌をお届けできますように、引き続き皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。